

森林環境教育全国シンポジウム

企画し、協働し、実践しよう

- 地域、環境、企業活動へと広がる森林環境教育 -

森林環境教育全国シンポジウムも回数を重ね、今回で6回目を迎えます。当初、森林環境教育との関わり合いがある様々な分野で、森林環境教育が、希薄になりがちな人と森林との関わりを再び活発にしてくれるという期待を込め、そのあり方を模索してきました。

回を重ね、平成13年度に山形県で開催した全国シンポジウムでは、森林環境教育を取り組む様々な分野でのノウハウを考え、地域づくりにつなげていく、さらには低迷した林業への新たな指針となるべく提案を試みてきました。そして昨年度は、里山文化構想により地域づくりを掲げる山口県を舞台に、里山と森林環境教育の関わりを示し、森林環境教育とは何かの提示を始めました。さらに、このような中で一昨年からは、森林環境教育に取り組む仲間の輪をつくろうとの声があがり、活動にはずみをもたらすネットワークづくりへの検討も進め、今年度は具体的な取り組みを始めようと考えています。

さて、山梨県で開催する今年度のシンポジウムでは、地元の実践者を中心とした人たちとの共催という新しい試みにより行うことにもなり、森林環境教育の活動もいよいよ幅広く、実践を進める時を迎えました。それぞれのねらいを持って、様々な分野での取り組みのノウハウを活かし、社会に役立つ森林環境教育を進める契機としてこのシンポジウムを活かしましょう。全国各地で、それぞれの地域や実践者の個性を活かした森林環境教育が数多く実践され、人と森林の関係が一步でも近くなり、環境問題の解決が少しでも具体的になってくる社会をつくりましょう。今回のシンポジウムは、そうした意味で、森林環境教育の新しい一歩になる大会にしたいと考えます。

日 時	平成16年10月29日(金) 13:30から " 31日(日) 13:45まで
場 所	上野原町立上野原小学校学校林 山梨県立ゆずりはら青少年自然の里(山梨県北都留郡上野原町桐原13880番地) 山梨県立八ヶ岳自然ふれあいセンター(山梨県北巨摩郡大泉村西井出石堂8240-1) 財団法人キープ協会(山梨県北巨摩郡高根町清里3545)
参 加 者	森林環境教育の実践者・賛同者、行政、森林組合等210名
主 催	森林環境教育全国シンポジウム山梨実行委員会 全国森林組合連合会
後 援 (予 定)	林野庁、文部科学省、環境省、総務省、山梨県、山梨県教育委員会 山梨県森林組合連合会、峡北森林組合、北都留森林組合 上野原町、上野原町教育委員会、高根町、高根町教育委員会

問合せ先：全国森林組合連合会 組織部組織・監査グループ
〒101 0047 東京都千代田区内神田1 1 12
TEL 03-3294-9717
FAX 03-3293-4726

【開催日程】

< 上野原会場 >

「学校の森」を活用したふるさとづくり現地視察

10月29日(金)

- 12:30 集合(JR中央本線「上野原」駅前) *集合後、バスで会場へ移動します。
- 12:45~13:15 受付(上野原中学校正門)
- 14:00~16:00 森のコンサート等現地視察 <上野原小学校学校林>
- 19:00~22:00 地域との交流会 <山梨県立ゆずりはら青少年自然の里>
〔宿泊〕山梨県立ゆずりはら青少年自然の里

10月30日(土)

- 6:00~9:30 早朝プログラム、ゆずりはら地区のくらしと文化(散策等)
- 9:30 清里会場へむけて出発(移動バス)
- 11:30 清里会場着、受付まで自由時間、昼食

<清里会場> 山梨県立八ヶ岳自然ふれあいセンター・財団法人キープ協会

10月30日(土)〔清里会場・プレ行事〕

- 9:30~12:00 野外体験プログラム <財団法人キープ協会>

< 清里会場 >

開会式・全体会・清里分科会

10月30日(土)

- 12:00 受付 <山梨県立八ヶ岳自然ふれあいセンター>
- 13:00~13:20 開会式 <山梨県立八ヶ岳自然ふれあいセンター>
- 13:20~14:45 全体会 <山梨県立八ヶ岳自然ふれあいセンター>
- 15:00~17:30 分科会1~6 <財団法人キープ協会>
- 18:30 情報交換会・夕食 <山梨県立八ヶ岳自然ふれあいセンター>
〔宿泊〕キープ協会「清泉寮・同ロッジ」

10月31日(日)

- 9:00~12:00 分科会1~6 <財団法人キープ協会>
- 12:00~13:00 昼食
- 13:00~13:45 全体会 <山梨県立八ヶ岳自然ふれあいセンター>
- 13:45 閉会式

展示コーナー

- 10月30日(土)10:00~31日(日)14:30 <山梨県立八ヶ岳自然ふれあいセンター内>

【開催内容】

「学校の森」を活用したふるさとづくり現地視察

(定員50名)

〔10月29日(金)〕

- 14:00~15:00 **上野原小学校「森のコンサート」見学** 出演：吉川正夫、こんのひとみ
地元上野原小学校で行われる学校林での活動プログラム「森のコンサート」見学します。
- 15:00~16:00 **「学校の森と我々の活動」** 北都留森林組合、上野原小学校
上野原ロータリークラブ、大月ロータリークラブ
上野原小学校学校林「八重山」の散策や間伐体験を見学しながら、学校林づくりに関わる地元ボランティアの活動を紹介します。
- 19:00~22:00 **「地元林業者との情報交換会」** 北都留森林組合、年輪の会
北都留森林組合、年輪の会の活動を紹介します。参加者との情報交換を行います。
「歓迎のあいさつ」 奈良明彦(上野原町長)
「学校の森(八重山)での活動」 橋田篤男(上野原小学校長)
「宇宙の中の地球、地球の中の私」 牛山俊男(自然写真家)

*雨天の場合、上野原小学校体育館にてコンサートなどを実施します。

清里全体会〔10月30日(土)13:20~14:45〕

「シンポジウムのあしどり・森林環境教育とは」

「森林・林業を企業の社会貢献の場としてどう活用していけばいいのでしょうか~企業も森も元気になりたい~」

富士ゼロックス株式会社・東京コカ・コーラボトリング株式会社・日本電気株式会社(NEC)

「森林環境教育ネットワークへの呼びかけ」

清里分科会〔10月30日(土)15:00~17:30、10月31日(日)9:00~12:00〕

分科会1「木が好きになるプログラムづくり」

(定員20名)

〔10月30日(土)・31日(日)〕 地球温暖化対策や循環型社会の構築のために、森林の機能を活かした林業や循環資源としての木材利用や木質・森林バイオマス利用は重要である。これを市民に啓発する手法として森林環境教育が期待されている。アメリカでは、木材利用普及のためには森林・木材利用の教育を子どものうちから行うべきだと70年代から検討をはじめ、現在PLT(プロジェクト・ラーニング・ツリー)として小中高校生に対する充実した環境教育を行っている。そこで、PLTに学び、間伐材、スギ・ヒノキや日本の森林文化を取り入れた日本型PLTすなわち、樹木や木材が身近に感じられ、興味を持ち、森林・樹木・木材が好きになる効果的なプログラムについて、プログラム体験等を交え、考える。

コーディネーター：佐藤敬一(東京農工大学農学部助教授)

話題提供者：外川 隆(早稲田大学平山郁夫ボランティアセンター)

佐々木孝(ff:つちのこ代表、山梨大学・横浜国立大学非常勤講師)

関 邦春(ナウシカの会理事、ジェイファンネット代表取締役)

キーワード：PLT/木材利用促進/日本型森林環境教育

分科会2「森林環境教育からえがく新時代の林業」

(定員20名)

〔10月30日(土)〕 森林組合、林業家、企業、行政等の連携・協働による地域の実践事例を通じて森林環境教育活動における林業の役割と可能性をさぐる。

コーディネーター：原島幹典(林業経営・森林インストラクター)

「森林組合と地域行政の連携による地域活性化交流事業」

話題提供者：中田無双(山梨県北都留森林組合) 青柳 諭(小菅村源流振興課長)

「民間林業と企業活動との連携による森林保全・活用事業」

話題提供者：小林快治(山梨年輪の会) 牧野雅志(オルビス株式会社)

オブザーバー：加藤 豊(財団法人オイスカ本部)

〔10月31日(日)〕 プログラム体験「森と会話をする方法」

全員ディスカッション「新時代の林業をえがく」

講師：原島幹典(林業経営・森林インストラクター)

キーワード：林業の社会性/山間地域の未来/環境問題と人工林

分科会3「まちとむらを結ぶ森林環境教育は何を伝えるのか」

(定員20名)

〔10月30日(土)・31日(日)〕 山村と都市をつなぐ活動は各地で広がり、森林を通じた交流活動も多様化している。しかし、せっかくのまちとむらを結ぶ活動が、目的もはっきりしないまま、単なる「都市住民のよい体験」に留まっただけではもったいない。これからの社会をつくっていくために、まちとむらを結ぶ森林環境教育は何を伝えるべきなのか、ワークショップ形式で参加者の知恵を出し合いながら考えたい。

コーディネーター：鹿住貴之(NPO法人JUON(樹恩)NETWORK 事務局長)

キーワード：まちとむらのニーズ/まちとむらを結ぶ意義/まちとむらを結び伝えること

分科会4「森の生き方を引き継ぐ」

(定員30名)

〔10月30日(土)〕 日本の近代化以前から引き継がれてきた、森と共に生きる人々の暮らしの智慧、生き方からは我々が学ぶべきものがたくさんあります。しかしその記憶も日々途絶えております。子ども達にそれをどう引き継ぐかは、森林環境教育の緊急な課題であると考えます。この話題をテーマに、実践の交流と議論をしたいと思っております。

コーディネーター：高田 研(岐阜県立森林文化アカデミー教授)

話題提供者：辻 英之(NPO法人グリーンウッド自然体験教育センター事務局長)

水野雅夫(NPO法人 Woodsman Workshop 代表)

アシスタント：日置俊之(岐阜県立森林文化アカデミー)

〔10月31日(日)〕 ワークショップ。3つのグループでまとめ、全体で意見交換

講師：高田 研(岐阜県立森林文化アカデミー教授)

キーワード：暮らしと技術/価値観/子どもに伝えること

分科会5「指導者養成事業の企画手法」

(定員20名)

〔10月30日(土)・31日(日)〕 森林環境教育に限らず、各地で様々な指導者の養成事業が行われている。その事業のキーワードは「森林環境教育・環境教育・野外教育・自然体験・自然観察」などと幅広く、主催者も自治体から民間まで多様だ。「事業実施」だけが目的化している指導者養成事業になっていないだろうか？本当に「成果」をあげ、活躍する人材を育てる指導者養成事業にするにはどうしたら良いのか。キープの指導者養成事業の経験から共有できるものを学びたい。

コーディネーター：川嶋 直(財団法人キープ協会常務理事・環境教育事業部長)

キーワード：人材育成/事業企画/やる気をそだてる研修会

分科会6「『学校の森』を活用したふるさとづくり<八重山から学ぶ>」

(定員100名)

〔10月30日(土)〕 学校教育における森林環境教育に果たす、森林組合の使命と役割を、主に山梨県北都留森林組合の上野原小学校「八重山」への参画を事例に確かめ合う。

コーディネーター：下澤直幸(山梨県学校林活用検討委員・大月市立鳥沢小学校校長)

「上野原小学校の子どもたち」 話題提供者：中込一雄(上野原町立上野原小学校)

「八重山ミュージアムのできるまで」 話題提供者：船木示一(北都留森林組合利用係長)

協議者：佐藤 満(山梨県自然監視員) 清藤城宏(山梨県森林総合研究所)

田中明子(財団法人オイスカ山梨)

〔10月31日(日)〕 ワークショップ「上野原小学校の森林環境教育」

「間伐材を活かして」 講師：和智利明(甲斐東部材製材協同組合)

「積み木で遊ぶ」 講師：荻野雅之(木楽舎)

「八重山の自然観察」 講師：佐藤 満(山梨県自然監視員)

キーワード：楽しむ協働/学校の森/ふるさとの再発見